

公民館報

No. 96

(2021 / 3 / 1)

くしもと

編集・発行：教育課

串本町串本2427番地

TEL 0735-62-0006 / FAX 0735-62-6023



## 表紙文化財紹介

しおのみさき

潮岬

県指定文化財 記念物（名勝）

昭和34年1月8日指定

今月号の表紙は名勝「潮岬」です。

潮岬は町域の南に大きく張り出した半島状の岬で、本州最南端の地として全国に名を馳せています。地質は主に、石英斑岩・閃緑岩・輝緑岩等から成る一大台状の地形で、常時太平洋の黒潮に洗われています。この岬はもともと海蝕台地の島でしたが、串本の砂州によって本州と結びつき、陸繋島として今に至っています。脚下は目も眩むばかりの断崖絶壁で、南国ならではの風景美がここに集約されています。

# 檜野埼灯台及び エルトゥールル号 遭難事件遺跡 国指定史跡へ

公民館報令和2年12月号でもお伝えしたとおり、大島の東端、檜野埼の一部が、エルトゥールル号遭難事件に関する場所として国が指定する文化財（史跡）になります。

史跡に指定される場所は、近代最初の灯台として良好に保存されている「檜野埼灯台」、エルトゥールル号が衝突した岩礁「船甲羅」、生存者が泳ぎ着いたと伝わる「遭難者上陸地」、生存者が救助を求めてかけた「檜野埼灯台旧官舎」、犠牲者を葬った「遭難者墓地」の5カ所です。

エルトゥールル号遭難事件は日本とトルコの友好関係の礎となった事件です。事件から130年が経ってもなお語り継がれているこの史実を、今一度ご紹介いたします。



## エルトゥールル号 遭難事件とは

【エルトゥールル号日本へ】  
1890年（明治23年）6月、オスマン帝国（その一部が今はトルコ共和国になっていきます。）の軍艦「エルトゥールル号」が、横浜港にやって来ました。

かつて、小松宮彰仁親王殿下がオスマン帝国をご訪問された際、皇帝アブデュルハミト二世から手厚いおもてなしをされ、その感謝の意をこめて、明治天皇が親書（天皇の署名が書かれた手紙）と漆器を送られました。オスマン・パシヤ海軍少将ら親善大使はそのお礼のために、イスタンブールからおよそ1年かけてはるばる海を渡って日本にきたのです。任務を果たし、すぐに帰路に着く

予定でしたが、船内でコレラが発生したこともあって、しばらく横須賀に停泊することになり、出発は大幅に遅れ、9月半ばになってしまいました。日本では9月は台風の多い時期ですが、本国から「1日でも早く戻るように」との連絡を受けており、できる限りの整備を行った後、9月15日、エルトゥールル号は、次の寄港地である神戸を目指して出航しました。

出港時の天候は良好でしたが、夜半より風が強くなり、波も高くなり始めました。翌日には、風と波はさらに激しさを増しました。

### 【船甲羅での遭難】

檜野の海岸には岩礁が多いのですが、その中でも最大たるものが船甲羅と呼ばれている岩礁です。船甲羅付近を通る船が一度舵の操作を誤れば、これに触れて粉々になり、難破したり、沈没したりすることが昔から多くありました。



神戸を目指していたエルトゥールル号は、暴風雨の最中にこの難所にさしかかったのです。山のような大波にもまれ、全長76mの船が木の葉のように上下左右に激しくゆれました。メインマストが根元から折られ、船内に浸水が始まりました。

制御不能となったエルトゥールル号は、船甲羅に座礁し、蒸気パイプが爆発し、ついには船体が2つに折れて沈没してしまい、乗組員600余名は暗黒の海に投げ出されてしまったのです。

### 【奇跡の生存】

9月17日未明、暴風雨の中、檜野埼灯台に一人の外国人がヨロヨロと入り込んで来ました。やがて一人、また一人と、全身傷だらけの外国人が次々と入ってきました。言葉は通じずとも恐ろしいことが起こったことはすぐにわかりました。技師の滝沢正浄が万国信号の本を出し、その中に記されていた国旗を指さすように促すことによって、彼らがトルコ人であることを知り、また彼らの身振り手振りから、まだ多くの者が救出を求めていることがわかりました。嵐の中、看守はこのことを檜野区長、大島村長に知らせに走り出しました。血まみれのトルコ人に出くわした村人の第一発見者からこのことを聞いた檜野地区の人々をはじめ村中の人々が集まり、村をあげての救出が始まりました。

海岸では、なんとか岸までたどりついたものの、それ以上動けなくなっていたトルコ人たちがいました。檜野崎は海岸から陸まで道らしい道はなく、目もくらむような急な崖を這い上がっていか



ければならないため、一人のトルコ人を結びつけて背負い、一人が下から腰を押し上げ、もう一人が上からロープを引っ張りあげました。また、上では引き上げられた人を運ぶため、担架代わりの戸板を持った人たちが待機していました。

こうして、自力で崖を這い上がってきた人も含めて、69人のトルコ人が救出されました。

### 【遭難者の救護】

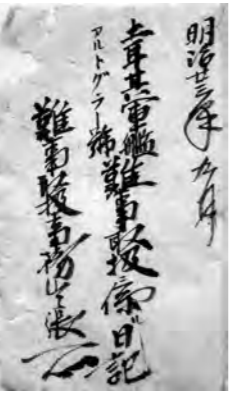
600余人の乗組員のうち、助かった者はわずか69人、オスマン・パシヤ海軍少将以下500人以上の者が亡くなりました。死者500人以上というのは、当時としてはもちろんのこと、今日においても世界最大級の海難事故です。

事故の知らせを受けた大島村の沖周村長は、直ちに先頭に立って、自ら活動に参加するために集まった村人達の指揮をとり、救護活動に取り組みました。

救出されたトルコ人たちは、大龍寺と檜野小学校に収容されましたが、手当や世話をを行うには十分な広さではなかったため、遭難して2日後に、大島地区にある蓮生寺に負傷兵の多くを運びました。

島の人々は、家からありったけの食料（収穫を間近に控えた芋や、大

切に飼っていた鶏までも）や着物を持ち寄り、トルコ人たちに与えました。また、漁船を出して、海に投げ出されて行方がわからなくなったトルコ人の捜索や遺体の収容作業、葬る作業を行いました。わずか400戸（檜野地区は60戸）ほどの小さな村の人々は、それこそ不眠不休で遭難者の救護や世話をし、こうした村人達の世話や大島村長からの知らせを受けて集まった医師達の治療により、一人も命を落とすことなく、救出された69人は、祖国へ帰ることができたのです。



日記の書き手である沖村長について、この日記に記された事件

後日、明治政府より医師達に「薬代及び治療費を請求せよ」と伝えられました。しかし、「負傷者を助けた一心で行ったことであり、治療費を請求するつもりはございません。すべて義援（慈善や被災者救済のため、金銭や品物を差し出すこと）とした」と思っています。即座に返事したその本は無量寺に保管されています。

また、沖村長はこの事故のことを早急にオスマン帝国に知らせる必要

があると判断し、兵庫県知事に依頼書を送りました。これは、エルトゥールル号が神戸に寄港する予定であったこと、神戸には外国領事館が多数あることなどが理由です。事故から3日後には、役場職員を同行させ、民間船でトルコ士官2人を神戸へ送り出しています。

車などがなかったこの時代、村長を中心に、村人達による村中を走り回っての、すばやく、的確な対応のおかげで、この大事故に対するその後の和歌山県や政府の対応がうまく進みました。

### 【生存者をトルコへ】

神戸に停泊していた日本の船やドイツの軍艦が、負傷者をむかえに大島へやって来りました。神戸では、医師や日本赤十字社の看護師が待機していました。69人の生存者は、早速病院で手厚い看護を受けた後、東京に移されました。

ちょうどその頃、日本国内では、大手の新聞社が次々と創業していた時期でした。神戸に入った情報は、すぐに各地へ伝えられ、日本中に広く知られていきました。新聞社が義援金を募集したところ、短期間のうちに多額の義援金が集まりました。事故から20日後、69名の生存者は、「金

剛」の2隻の軍艦でトルコに向かいました。

約3ヶ月かけて、東シナ海、マラッカ海峡、インド洋、スエズ運河、エーゲ海を航行し、ついにイスタンブール（当時はコンスタンティノープル）の入口となるダーダネルス海峡を目前にしました。しかし、ここで一つ大きな問題が起きました。当時、国際条約によって、オスマン帝国以外の軍艦は、ダーダネルス海峡を通過できないという決まりがありました。トルコ海軍からは、「生存者を海峡手前で引き渡して欲しい」との打診が比叡、金剛にきました。これに対し、比叡の艦長は、「私は国書を奉じて来ている。あくまでも比叡と金剛でまいりたい」と返答しました。

日本側の思いが伝わり、皇帝アブデュルハミト二世の大英断により、比叡、金剛の2隻がダーダネルス海峡を通過することができました。

1891年1月2日、2隻はようやくイスタンブールの港に着きました。イスタンブールの全市民はもちろ

# 第16回 年始少年剣道大会

2月17日(水)、町立体育館において、第16回串本町年始少年剣道大会が開催されました。小学生から中学生までの10名が参加し、日頃の練習の成果を競い合いました。各部門の結果は次のとおりです。

## 【小学生低学年の部】

優勝 河田 舞耶  
準優勝 亀井 歩音  
三位 稲田 羽琉  
敢闘賞 稲田 琉空  
西崎 柚人  
西崎 彩人

## 【小学生高学年の部】

優勝 佐藤 巨  
準優勝 西崎 夢人

## 【中学生の部】

優勝 尾崎 叶  
敢闘賞 荻谷 美沙希



# 第1回 紙上短歌大会

1月29日(金)町教育委員会主催の第1回紙上短歌大会を開催しました。

この短歌大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「紙上大会」として開催し、11月20日から12月24日にかけて自由題・未発表作品の募集を行いました。

応募のあった37首の短歌は、唐津麻貴子氏(読売新聞和歌山版歌壇選者)に選考していただきました。結果については下記のとおりです。



大会参加者

## (入賞作品)



【特選】  
初めてのラインは子等とつながりて変化なき日の変化楽しむ 中西 みよ子  
トルコ艦災禍の事も遙かにて檉野灯台夜霧にうるむ 清水 円  
福定の銀杏大樹の雲を突く四百年の遙けきいのち 杉若 喜代香  
初任地の鳥影見ゆれば今もなお柳行李と行きし日偲ぶ 石垣 実男  
狼煙場跡の石積み残る山頂に俄か開けり紺碧の灘 引地 貞子

## 【秀作】

逝きし息の五十回忌の一つ鐘余韻の金に秋風の過ぐ 上田 明子  
二千円背中のリュックに忍ばせて三歳なれど我引き揚げ者 奥村 文子  
竹筒に寒の椿を活け飾る亭主九十の茶室に集ふ 野入 博史  
微かなる音に鳥翔ち木の実降る河内の杜はしづけさに在り 清水 雅昭

## 【佳作】

僅かなる水平線の円みより地球を感じつ望楼に佇つ 津田 ちあき  
幾つもの元号越えて無住寺に老いて艶増す公孫樹散る 岩本 政明  
亡き夫の雲の色したセーターが雨雲となり私を濡らす 濱 甲  
お茶の間の柱に記しし子の背丈嫁が引きつき孫達計る 田中 掬代  
知らぬ間に空気を入れてくれし夫自転車こぎて優しさ知りぬ 前田 より子

# 文化財防火訓練



2月2日(火)に無量寺(串本)、2月8日(月)に成就寺(西向)において文化財防火訓練を実施しました。境内での出火を想定し、消防署への通報、参拝者の避難誘導、文化財の搬出、消防署員による放水訓練などを行いました。

1月26日の文化財防火デー前後に行うこの訓練は、火災、震災、その他の災害から文化財を守るため毎年実施しています。一昨年の4月15日にはフランスのノートルダム大聖堂が、10月31日には沖縄県那覇市の首里城跡が火災により焼失するといった事態が発生しました。有事の際には、訓練に参加して頂いております文化財関係者だけでなく、周辺住民の皆さま



んの協力が必要不可欠となります。地域ぐるみの保護活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 「文化財防火デー」

昭和24年1月26日に奈良県の法隆寺で火災が発生し、金堂の障壁画が焼失しました。これを機に文化財が火災、震災、その他の災害から守るため、文化財防火運動を展開しようとして毎年1月26日が「文化財防火デー」として制定されました。以来、毎年この日を中心に各都道府県教育委員会、各消防署、文化財所有者等の協力を得て、文化庁と消防庁が連携・協力して全国各地で防火訓練などの文化財防火運動を展開しています。

# 稲荷山(中湊)に 新たな山城跡

令和3年1月下旬、正法寺(中湊)の裏山、稲荷神社のある稲荷山の頂上に山城跡が新たに発見されました。稲荷山にあることから稲荷城と名付けられ、調査によって山頂に曲輪が1つとその南北に堀切がそれぞれ1つずつ発見されました。

この城に関する文献等が見つかっていないため詳細は不明ですが、麓の正法寺は戦国時代当地方の領主高川原撰津守貞盛の菩提寺であると伝わっているため、高川原家が緊急時に避難するために造られた山城ではないかと推測されています。



JR古座駅側から古座橋を渡るときに左前方に見える山が稲荷山

## 町内の城跡

(所在築城者遺構)

和深浦城跡：和深・村上伝十郎・堀切、土塁、曲輪

虎松山城跡：和深・村上伝十郎・堀切、曲輪、土塁

田並上城跡：田並・不明・堀切、土塁

結城城跡：有田・結城少将氏朝・堀切、石垣、土塁、曲輪

小山城跡：西向・小山三郎実隆・堀切、曲輪

虎城山城跡：古座・高川原撰津守貞盛・石垣、堀切、曲輪、通路

高松城跡：田原・不明・不明

岩屋城跡：田原・不明・曲輪

佐部城跡：佐部・田村半之丞・堀切、土塁、曲輪、石垣

## 用語解説

山城：山岳部の地形を利用して築かれた防御施設。居住用ではなく、避難場所としての役割を持つことが多かった。  
堀切：垣や堀、崖などで囲われた城内の区画  
堀切：山の尾根を断ち切るように掘られた溝。尾根伝いに攻めてくる敵を足止めした。  
土塁：敵などの侵入を防ぐために築かれた、主に盛土による堤防状の防壁

## 図書館からお知らせ

12月から、図書館の中庭にブランコとウッドデッキを設置し、飲食が可能なくつろぎスペースとして開放しています。みなさんご利用ください。



### 新着図書

- 【一般図書】
- ✖ スター 朝井 リョウ
  - ✖ お探し物は図書館まで 青山 美智子
  - ✖ 狸の腹鼓 宇江 敏勝
  - ✖ 推し、燃ゆ 宇佐見 りん

- 【児童図書】
- ✖ あひるがあるいてあいうえお わらべきみか
  - ✖ チップくんのきかんしゃぼつぽー! かるくこうぼう
  - ✖ ふかふか ぼん!
  - ✖ ねえねえあのね しもかわらゆみ

## 古座川河内祭保存会

### 令和2年度地域文化功労者表彰受章

古座川河内祭保存会が令和2年度地域文化功労者表彰を受章しました。この表彰は全国各地域において、芸術文化の振興、文化財の保護に尽力する等、地域文化の振興に功績のあった個人及び団体に対して、その功績をたたえ文部科学大臣が表彰するものです。

1月24日(日)に京都市で表彰式が行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえて中止となり、表彰式で授与される予定であった表彰状や記念品等は、古座川河内祭保存会杉本喜秋会長宅に届けられました。

### 古座川河内祭保存会功績等詳細

「河内祭の御舟行事」は、昭和40年に和歌山県指定無形民俗文化財となり、平成11年には国の重要無形民俗文化財に指定され、その保護団体である古座川河内祭保存会は、前身である古座神社から数えて50年を越える活動歴をもつ団体である。

河内祭の特徴は和歌山県南部の熊野地域に古くから伝わる自然崇拜を受け継ぐとともに、精進潔斎をして神の使いを務めるシヨウロウと呼ばれる3人の子どもの神役など、伝統的なしきたりを数多く残し、地区ごとに豊作・豊漁・海上安全などさまざまな祈りが河内島に捧げられることである。

また、江戸時代から沿岸捕鯨で栄えた古座の漁師たちが、鯨舟に祭り幕や幟旗を飾り華麗な神幸舟とした「御船」や獅子舞を乗せた「獅子伝馬」、競漕を行う「權伝馬」など、古座川を舞台にした水上渡御が祭の見どころである。

また、平成28年4月には、日本遺産「鯨とともに生きる」の構成文化財の一つとして認定され、当該ストーリーにおける唯一の国指定文化財として、日本遺産の認定を得る上で大きな役割を果たした。



河内祭の御舟と河内島



表彰状を手にする杉本喜秋会長

## 灯台

潮岬公民館の一室に「かんりん文庫」があります。二〇一九年七月に、串本町出身の梅崎百合子さんが立ち上げた「岬の小さな私設図書館」です。

四年前に引越してきた私の家から公民館までは歩いて五分ほど、それまでは年一回の区民総会、区民展選挙の時、自動車文庫の日に訪れるだけでした。閲覧板の中に『さかなとり通信』(かんりん文庫 梅崎さんが発行)を見つけたら…。その中に「一緒に活動しませんか?」の一文があり、こんなに近いのならと一度足を運んでみることにしました。部屋の入口に立つと選挙の投票所のイメージが一変、壁一面に本、本の。学校の図書室のようで何かしら懐かしさを感じました。

「私にも何か手伝えること、ありませんか?」

「はい、ぜひ。」

初対面でしたが面接もなく簡単な自己紹介だけで、その日から私も「かんりん文庫」のスタッフの一員に加わることとなりました。開館は水曜日と土曜日の午後。私は月一回程度、準備(最近はテーブルや床、筆記用具等のアルコール消毒も)や本の貸し出し、後片付け等の手伝いをさせてもらっています。とは言え、

文庫活動は初めての私、梅崎さんか教わるが多くあります。

「なぜ文庫活動を始めることに?」  
私の問いかけに答えてくれました。「六十五歳で退職して、まだ余力がある、何かできるのではと考えた。本が子ども達に与える力はすごい。地域に密着して、本の話をするコミュニティセッションは大事だと思う。子ども達の居場所を作りたい。」

町の本屋さん「神林書店」の孫として生まれ、幼い頃からワクワクする本の世界をたくさん見てこられたのでしよう。京都の小学校で学校司書を務めた後、串本町にUターンして文庫活動を始めたそうです。京都周辺のいくつかの文庫を訪ね、古里で同級生に協力を呼びかけ、「神林書店」に由来する「かんりん文庫」をスタートさせるまでの熱意に、同世代の私は圧倒されるばかりでした。

一昨年までは本の貸し出し以外にも、ぬり絵や折り紙・ミニ工作などが用意され、子ども達が嬉々として集う場所でもあった「かんりん文庫」。しかし、コロナ禍の影響で今は活動の縮小を余儀なくされています。当初は公民館前で帰りのバスを待つ小学生のために、五分間ほどの青空読み聞かせもあり、梅崎さん自身も「今日はこの本を読もう」と楽

しそうに話されていました。

昨年は制限がある中でも幾つかのイベントを企画。今できる範囲での地域への働きかけや利用者とのコミュニティセッションを大切にされ、読書講演会(今こそ子どもに読む喜びを! AI時代の子どもの読書の重要性について)講師 元市立図書館長川上博幸氏・「かげえ」かみしばい・影絵のワークショップ(講師 影絵プラネット浜崎ゆう子さん)などを主催されています。

一昨年のクリスマスおはなし会(昨年はコロナ禍で開催できず)に、一利用者として私も参加、大きな紙芝居を食い入るように見つめる子ども達、ウクレレに合わせてクリスマスソングを歌ったり、鈴やタンバリン・拍手でリズムに乗ったりする子ども達の笑顔を間近で見せてもらいました。

文庫を訪ねるのは幼児とお母さん、小学生、孫とおばあちゃん、地域の大人の方々、土曜日には子どもとお父さんの姿も…。本がたくさんあるだけではなく、季節に応じた本が並び、つけをされた空間の中で、時には「こんな本あるよ」とアドバイスを受けながら、子ども達は好みの本を借りていきます。また、奈良に暮らす実家の母親のためにと絵本を借り、

古座川河内祭保存会は、永年にわたり河内祭の運営に携わり、河内祭に関わる地域や団体をまとめ、伝統文化の継承と地域の活性化に努めている。また、日本遺産観光等の地域振興にも重要な役割を果たし、和歌山県の伝統文化の保護および文化振興に対する貢献は多大である。

自分の声でテープに録音して送っているという大人の方も来られます。私自身もこれまでに七十冊の本を借りて読んでいます。

文庫で出会った一冊『天、共にあり アフガニスタンの三十年の闘い』(中村哲著)は、砂漠化するアフガニスタンで自ら水路建設に携わった日本人医師の記録。読んで折しもNHK「おはよう日本」で、凶弾に倒れた中村医師を追悼する『ひと粒の麦』(さだまさし作詞作曲)が流れていました。歌詞の中に「私に出来ることを為せば良い」とあります。もちろん中村医師のような人とは比べようもないのですが、「今できることを」というメッセージをもらった気がしています。

村詰 真紀子



# 教育課よりお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から次のイベントは中止といたします。

楽しみにして下さっていた参加者の方々、町民の皆様には申し訳ありませんが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

- ・第16回串本町民音楽祭
- ・串本町俳句大会
- ・本州最南端寿野球大会



## 第8回 南紀熊野ジオパークフェスタ

日時：3月6日(土) 10時～16時30分

場所：南紀熊野ジオパークセンター  
(串本町潮岬2838-3)

### 内容

- ①南紀熊野ジオパークフォトコンテスト最優秀賞表彰式
- ②講演「南紀熊野ジオパークで体感する日本列島のジオの特徴ー付加体、火山、そして地震」  
講師：高木秀雄氏（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）  
※会場での聴講は事前申込が必要です。(人数制限有)  
※無料オンライン配信も実施します。(申込不要)
- ③ジオパークガイドのオンライン交流
- ④移動巡回展「国立公園ーその自然には、物語があるー」  
8K THEATER 高精細映像体験

### ●お問合せ

南紀熊野ジオパーク推進協議会  
(南紀熊野ジオパークセンター内)  
TEL：0735-67-7100



南紀熊野ジオパーク

## 第20回和歌山県市町村対抗 ジュニア駅伝競走大会

2月21日(日)、和歌山県市町村にて和歌山県・和歌山県教育委員会・公益社団法人和歌山県体育協会主催の第20回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会が開催され、串本町から2チーム(代表・オープン)が出場しました。

例年参加していた近隣の駅伝大会がすべて中止となり、本番までに十分な経験を積むことができませんでしたが、それでも選手達は監督やコーチの指導のもと、ひとつでも良い順位がとれるようチーム練習や紅白戦を懸命に行い本番に臨みました。



結団式の集合写真

### 串本町チームメンバー

久保 浩子	(古座小5年)	沖 琉翔	(潮岬小5年)	河田 留唯	(潮岬小5年)	久保 流	(潮岬小5年)	二郷 孝太	(串本小5年)	堀 遥陽	(橋杭小5年)	三木 柁	(串本小5年)	川口 蒼瑛	(出雲小6年)	川口 真央	(潮岬小6年)	佐藤 雪乃	(潮岬小6年)	嶋崎 立晟	(串本小6年)	山崎 瞬	(潮岬小6年)	和田 日朋那	(串本小6年)	久保 凜	(潮岬小1年)	堀 美奈希	(串本小1年)	山田 涼生	(古座中1年)	荻立 心	(串本中2年)	沖 勇汰	(串本中2年)	久保 瞬	(潮岬中2年)	久保 日真莉	(串本中2年)	伊瀬谷 連	(串本中3年)	上野 陽春	(串本中3年)	岡村 夏那	(串本中3年)	尾崎 立	(潮岬中3年)	川口 騎良	(串本中3年)	川口 永遠	(串本中3年)	西村 駿輝	(潮岬中3年)	野村 行誠	(串本中3年)	山崎 凜	(串本中3年)
-------	---------	------	---------	-------	---------	------	---------	-------	---------	------	---------	------	---------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	------	---------	--------	---------	------	---------	-------	---------	-------	---------	------	---------	------	---------	------	---------	--------	---------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	------	---------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	------	---------